

熊本高等専門学校人研究倫理審査委員会議事要旨

日 時 令和7年10月7日（火） 13：00～13：45
場 所 熊本キャンパス：中会議室、八代キャンパス：テレビ会議室
出席者 （熊本キャンパス）光永委員長、葉山委員、永野委員
（八代キャンパス）田中裕一委員、村山委員、清永委員
欠席者 田中禎一委員
申請者 柴里教授

議 事

議題1

「電動車椅子の視線制御インタフェースの開発」における倫理審査

柴里教授より、申請書及び同意書（案）に基づき本研究の説明がなされた。

説明後、以下の質疑応答等がなされた。

・車椅子の暴走についてどのような安全対策をとっているかとの質問に対し、車椅子の速度は時速6km（秒速1m）程であり、研究室内での実験の際、被験者に主電源を切ることで車椅子を停止させることができる旨を説明された。委員から今回のような自走系など安全対策を確認する場合もあるので、様式に安全配慮について記載する欄が必要ではないかとの意見があった。

・方向の矢印を視線で追った時のトリガーについての質問に対し、電動車椅子前に設置された透過ディスプレイの先に漢字の「井」のように区切った画面を設置し区切った範囲を視た方向に移動させるようなインタフェースを開発するとの回答があった。

以上の審議の結果、次のとおり判定した。

判定 【承認】

議題2

「ロボットの視線制御インタフェースの開発」における倫理審査

柴里教授より、申請書及び同意書（案）に基づき本研究の説明がなされた。

以上の審議の結果、次のとおり判定した。

判定 【承認】

議題3

「見守りカメラシステムの開発」における倫理審査

柴里教授より、申請書及び同意書（案）に基づき本研究の説明後、以下の質疑応答等がなされた。研究分担者に制御情報システム工学(CI)分野の松尾和則准教授を追記するとの説明があった。追記後、再提出。

・見守り対象者以外の人をシルエットにしてぼやかすということなのかという質問に対し、カメラに映った対象者以外の家族等をオーバーレイした映像を流すとの回答があった。

以上の審議の結果、次のとおり判定した。

判定 【承認】

その他

議題1で委員からあった下線部の意見について、

（記載例）「想定される危険に対する安全対策」

「想定される危険を伴う実験の場合は安全対策を明記してください」

上記記載例の文言を

- ①申請書4（12）に追記する
- ②申請書に新しく記載する項目を設ける
- ③申請書4（9）のアスタリスクのように注意書きとする

①～③について後日確認し、Teamsで審議等を行うこととなった。

以上